

体験からの導入説明会

# 戦略 ビジネス ゲーム

**2026.2.26 THU**

**OPEN13:30 START14:00-16:30**

**対象** 企業等の人材育成・研修企画に携わる方

**会場** 東京金融ビルレッジ  
大手町フィナンシャルシティサウスタワー5階

**参加無料** | **定員 48名**

※各社につき2名様までの参加とさせていただきます。



**お申込み&お問い合わせ**



**参加申込**



本体験会開催につきまして

人的資本経営が重視される現在、企業には「人材をどのように育成し、将来の価値創造につなげていくのか」を、経営戦略と一体で考えることが求められています。しかし実務の現場では、

- ・経営視点を持つ人材育成が難しい
- ・座学だけでは行動変容につながりにくいといった悩みが多く聞かれます。

本体験会では、人材育成・研修企画に携わっている皆さまに、実際に戦略ビジネスゲームの実体験を通じて、人材育成コンテンツとしての有用性を体感していただくことを目的としております。

なお、本会は、戦略ビジネスゲームの内容を御理解いたただくことを目的とした無料体験です。実際に導入される際には、有料でのご提供となります。

戦略ビジネスゲームとは…

『戦略ビジネスゲーム』とは、参加者が経営者の立場に立ち、限られた情報と資源の中で意思決定を行い、その結果をシミュレーションとして体験する参加型・体験型の研修コンテンツです。

- 戰略立案
- 意思決定
- 他者との対話・合意形成
- 結果からの内省

を繰り返すことで、経営者に必要な視座や思考様式を疑似体験できます。

※裏面の『戦略ビジネスゲーム・豆知識』も御参照ください。

**主催：一般財団法人 会計教育研修機構**

<https://jfael.or.jp/business-game>

[Info+business-ame@jfael.or.jp](mailto:Info+business-ame@jfael.or.jp)

03-3510-7860

戦略ビジネスゲームをもっと知りたい方へ！



# 戦略ビジネスゲーム・豆知識

1

## 戦略ビジネスゲームの実績

戦略ビジネスゲームは、実務補習所において公認会計士のたまごたちが実際のビジネスを学ぶための教材として30年以上に亘り活用されてきたコンテンツです。

2024年秋頃から企業向けに展開を始めました。これまでに、大手通信系企業の新人研修、部品等製造企業の事業部研修、コンサルティング会社のコンサルタント研修等で実施されました。

加えて、2025年6月には近畿エリアにおいて大学対抗戦略ビジネスゲームが開催され、多方面に亘り展開中です。

2

## 戦略ビジネスゲームの具体的な内容

<疑似ビジネス環境>

- ・ 家電等の耐久消費財の卸売業
- ・ 取り扱うのは、ライフサイクルステージの異なる3種類の商品

<対戦方法>

- ・ 1チーム4名ほどのチーム戦
- ・ 販売、購買・在庫、人事、財務、社長の各役割をチーム内で分担

<勝敗のキー>

- ・ 市場シェアの獲得が重要なミッションですが、累計経常利益額で勝敗が決まります。つまり、企業としてビジネス全体をどのようにデザインするかがキーとなります。

3

## 戦略ビジネスゲームの経営疑似体験の所以

- ・ 適切な経営判断のために市場調査（総需要、競合他社の情報等）が組み込まれていること
- ・ 過剰在庫、調査コスト、資金不足による利息負担等、現実の経営と同様にトレードオフが組み込まれていること
- ・ 現実のビジネスと同様に正解がない状況で判断し、その結果と向き合う場であること
- ・ 経営判断の積み重ねが、必ず損益・財政状態・資金繰りとして跳ね返ってくること
- ・ 経営判断に必要な損益・財務数値が速やかに手許に届き、意思決定に注力できること

4

## 戦略ビジネスゲーム学びの効果

- ・ 本ゲームは、“ゲームに勝つこと”が目的ではありません。
- ・ ゲームに勝つことよりも、なぜその判断をしたのか、結果は何を意味しているのか、その結果を踏まえ次にどのような判断を行うのか、このプロセスが重要です。
- ・ このプロセスを繰り返すことで、自らの判断が損益や資金繰りとして返ってくることを理解し、その結果を受け止める覚悟、すなわち経営者としての視座を醸成していきます。
- ・ 判断に迷い、議論し、振り返るプロセスを通じて、人材の質的転換を促す、究極の投資型の研修です。

5

## 戦略ビジネスゲームが想定する対象者

本コンテンツは、実際のビジネス経験がない会計専門職が経営を疑似体験するために開発されました。会計知識を前提とするものではなく、むしろ、会計と向き合う必要性を感じながら、きっかけを掴めなかった方にお薦めしたいです。

<想定する主な対象者>

- ・ 将来、経営に関わる立場として、会計・ファイナンスの重要性を実感したい次世代リーダー・管理職、経営幹部候補
- ・ 会計に苦手意識はあるが、経営や事業に関心のある方
- ・ 意思決定と数字・資金繰りの関係を体感的に理解したい方

6

## 戦略ビジネスゲーム参加への懸念

会計の素養があまり無い方にとっては、最初は本ゲームを難しく感じるかもしれません。しかし、本ゲームの重要な要素の一つ意思決定はビジネス判断であり、会計の素養は必要ありません。意思決定の結果として財務諸表や資金繰りがどう変化するのかを体験することで、経営に携わる立場にある者が会計やファイナンスを「学ぶ必然性」に気付く、これが本ゲームの本質です。会計はあくまでも手段です。経営やビジネスに関心があり、数字と向き合う覚悟をお持ちの方の御参加をお待ちしております。

※ 戦略ビジネスゲームは、メンバーと役割を分担し合意形成するプロセスを通じて、参加者同士の繋がりの深度を高めます。その結果、組織の部門間の連携や全体最適思考にも寄与します。戦略ビジネスゲームがもたらすその他の効果や実施にあたっての参加人数、所要時間等につきましても、「体験からの導入説明会」で御説明します。